

彫刻家で北区名誉区民である北村西望、治禧親子が制作活動していた北区西ヶ原



アトリエ館 公開見学会

アトリエと作品の一部を公開します。

令和元年

9/30 (月)

10/6 (日)

事前申込制



(仮称)アトリエ館は、北村治禧氏の父である西望氏が大正11年に曠原社(こうげんしゃ)の彫刻研究所を開設した場所であり、昭和28年に西望氏が井の頭に転居されるまで制作活動をしたアトリエ。その後、治禧氏ひとりの創作活動の場となり、昭和58年に現在のアトリエに建て替えられました。(長屋門の建設時期不明)この施設は、平成13年8月に治禧氏が逝去されたあと、平成14年3月にご遺族から北区に、お2人の数多くの彫刻作品等とともに寄付されたものです。



数々の作品が誕生した
アトリエ空間



「妖精」北村治禧 作



●公開日時/9月30日(月)~10月6日(日)
各日①午前11時~、②午後1時~
※見学時間は、1時間程度

・10月1日(火)午前11時~
・10月5日(土)午後1時~
上記の回は西望・治禧ご遺族の方のお話を聞けます。

内田康夫『北の街物語』

(中央公論新社)

浅見光彦が地元・**北区**を東奔西走し、事件の解決に挑む。物語のキーとなる「**妖精**」は、治禧氏の作品がモチーフとなっている。

●定員/各回20名(先着順) ●場所/(仮称)彫刻アトリエ館(西ヶ原1丁目)

●申込方法/電話またはメールからお申込ください。

【必要事項】氏名・居住地域・電話番号・希望日時

●申込・問い合わせ先(公財)北区文化振興財団 TEL03(6338)5711月曜休館

申込専用メールアドレス kcf_bunkasinkou@kitabunka.or.jp

※メールの件名は「アトリエ見学申込」としてお申込ください。

9月1日(日)
申込受付開始

